LA ARCHITECTS

●オリジナルキッチン ・バックカウンター
取付・設置説明書

取付・設置をされる方へのお願い

■取付・設置前に、この「取付・設置説明書」をよくお読みの上、正しく設置してください。
■設置完了後に試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。
■本体や機器に同梱されている取扱説明書等はお客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れの無いように保管し、取付・設置完了後、お客様に渡してください。

1 安全上のご注意

■ここに示した注意事項は守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。
■設置完了後に試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。
■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表で区分し、説明しています。

⚠注意　⃠禁止　❗実行

以上の記号の記述を必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危険の程度。

- ❗ステンレス製ワークトップを取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。(切断面に触ると、ケガをする恐れがあります)
- ❗ウォールユニットの設置は、建築壁の構造を確かめて取付・設置説明書どおりに正しく行ってください。(落下してケガをする恐れがあります)
- ❗電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。(火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります)
- ❗組込まれる電気機器・水栓などについては、それぞれの取付・設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。(思わぬ事故や故障の原因になることがあります)
- ❗レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください(詳しくは、所轄の消防署へ確認ください)(火災の原因になることがあります)

⚠注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

- ❗棚板を設置する時は、棚受けをすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。(棚板がはずれ収納物が落下してけがをする恐れがあります)
- ❗防臭キャップ・排水器具・排水ホースの取付け及び給排水管の接続部分のシールは確実に行ってください。(水が漏れたり、湿気が上がり床などが腐る恐れがあります)
- ⃠排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。(排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚すおそれがあります)
- ❗取付・設置完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。(使用中に扉が落下して、けがをする恐れがあります)
- ❗取付・設置に使われる溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって、正しく使ってください。(誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因となります)
- ⃠絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。(落下して、けがの原因となります)

ベースユニット付属ねじ　ユニットごとに附属します。

- ●皿木ねじ L50mm
- ●皿ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞﾞねじ L40mm
- ●皿木ねじ L28mm
- ●ﾄﾗｽﾀｯﾋﾟﾝｸﾞﾞねじ L12mm
- ●ワッシャー
- ●化粧キャップ

2 施工前の確認

1. 荷物の受取り
車上渡しとなります。また重量がある製品や荷姿の大きな製品がありますので受取りの準備をお願い致します。
(製品の品質確保のため、搬入・搬出は必ず手運びで行ってください)

2. 部材の確認
荷受した商品はご発注控え又は納品一覧表を基に、品番・数量を確認してください。

3. 施工現場の確認
設備図面通りに、一次工事ができているか以下の項目について、確認してください。
・設置場所の間口寸法、床の水平、壁の垂直、コーナー部の直角度
(水平・垂直・角度等の精度が出ていないと、仕上げが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。)
・窓枠や建具の位置と寸法
・取付木の位置及び寸法(厚さ45mm以上、幅100㎜以上の強度のある硬い木材)
・必要な給湯水管、排水管、ガス配管、電気配線の位置と接続方法
・ガス種、電圧(100V・200V)、周波数
・レンジフード用の開口の位置及び寸法
・火災予防条例に準拠したレンジフード、コンロの設置場所と可燃物の離隔寸法
製品の搬入経路の確認を行ってください。

4. 設備位置は図面通りの位置に出ているか、確認してください。

3 設置手順　3-1

■レンジフードの取付け

1. 取付用墨出し
仕上り床面を基準に、レンジフードの下端(または上端)の位置に
墨出しします。　キッチン設備図面で設置位置、設置高さを確認してください。

2. レンジフードの取付け
レンジフードに付属されている取付・工事説明書に基づき、取り付けます。

❗●レンジフードを取り付ける取付木が指定通りに使用されていることを確認してから取付けてください。
(取付木に充分なネジ保持力がないと、使用中にユニットが落下しケガをする 恐れがあります)

3 設置手順　3-2

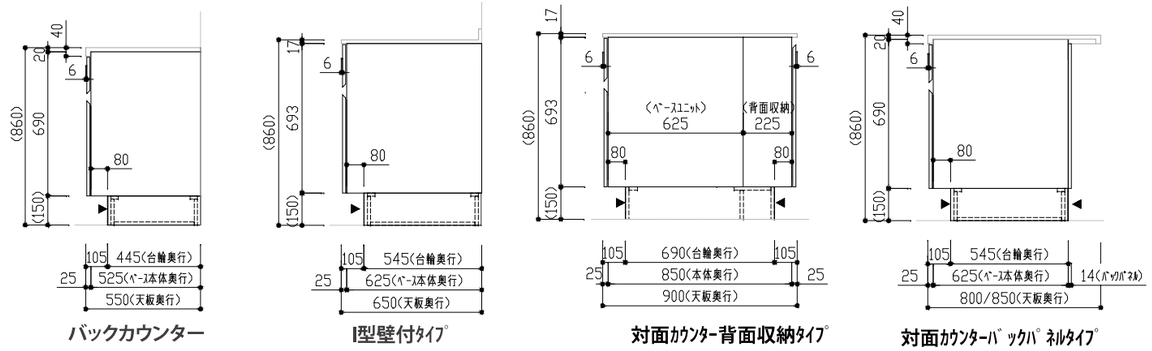
■ベースユニットの取付け

❗
- ●ベースユニットは、確実に固定を行なってください。。
※床固定の場合は床面に設置されている配線や配管その他の設備に固定ビスが干渉しないことを事前に確認してください。
- ●取付け時には引出しや扉を取り外して作業を行ってください。
また引出しや扉に汚れや傷が付かないように養生をして保管してください。
- ●引出しを持つ場合は必ず引出しの側板部分を持ってください。
(左右のパイプ部分を持つと外れて引出し本体が落下し、ケガをするおそれがあります)
- ● 水準器等で水平レベルを確認して固定を行ってください。
(水平レベルが出ていないと歪みや金具の作動不良の原因となります。)

1. 台輪の設置

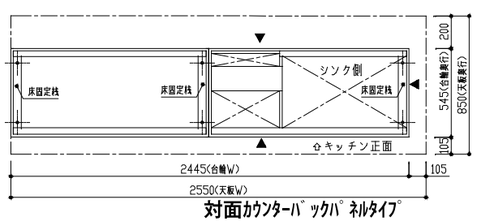
図面に基づき台輪を設置します。 台輪の前後・表裏に注意してください。
（図１参照）
皿タッピングネジL40にて台輪を床固定してください。（図２参照）
※配管・配線が台輪と干渉する場合は切欠き加工が必要となります。

※本図寸法は代表タイプのものです。
タイプにより寸法が異なりますので、
キッチン設備図にて寸法を確認ください。
▲・・・台輪ｽﾃﾝﾚｽ化粧面を示す。

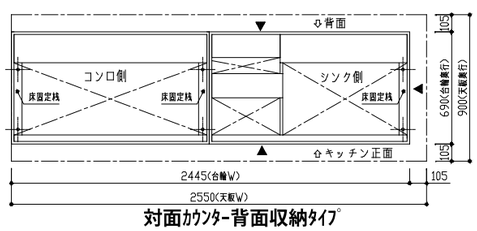


バックカウンター　I型壁付ﾀｲﾌﾟ　対面ｶｳﾝﾀｰ背面収納ﾀｲﾌﾟ　対面ｶｳﾝﾀｰﾊﾞｯｸﾊﾟﾈﾙﾀｲﾌﾟ

-図１-　[天板・ベース・台輪寸法　断面]



対面ｶｳﾝﾀｰﾊﾞｯｸﾊﾟﾈﾙﾀｲﾌﾟ



対面ｶｳﾝﾀｰ背面収納ﾀｲﾌﾟ

※本図は右シンク（Rタイプ）の場合です。

-図２-　[天板・台輪位置　平面]

2. ベースユニット固定用下穴の加工

ベースユニットに固定用下穴（φ5）加工を行ないます。
連結される側のユニットには下穴不要です。（位置は図３参照）

3. ベースユニットの仮設置・ユニット同士の連結

図面に基づきユニットを仮設置し、ユニット同士の連結をします。
皿木ねじL28で固定　（ワッシャー・化粧キャップ使用）
横連結のユニット下穴（Φ5）位置　（図4参照）
壁側にフィラーのつく場合は同時に取付を済ませてください。（図５参照）

4. レベル確認

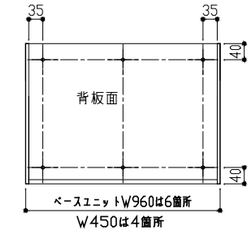
水準器等でベースユニット上端の水平レベルを確認して下さい。
※調整が必要な場合は調整クサビ（附属品）にて、台輪とユニット間へ
場合により床と台輪間で調整します。（図6参照）
調整材が足りない場合は、現地調達願います。

5．ベースユニットと台輪の連結

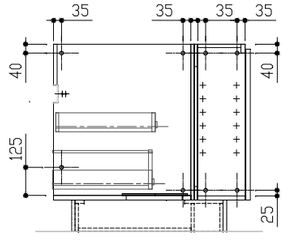
納まりに問題ないか確認し、ベースユニット底板の固定穴から皿木ねじL28
にて、台輪と固定します。
ベースユニットと壁面を皿木ねじL50で固定します。ユニット側板へ下穴(Φ5)
（ワッシャー・化粧ｷｬｯﾌﾟ　使用）

6．食洗機の設置

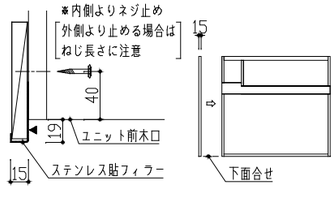
設置に関しては、食洗機の説明書をご確認ください。
※食洗機の横ずれ防止金具の取付ネジは食洗機付属品ではなく
食洗機ベースユニットに附属のトラス小ネジM4X5　を使用してください。



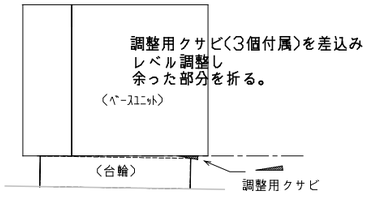
-図３-　[壁固定・背板収納固定用下穴位置]



-図４-　[横連結下穴位置（参考）]



-図5-　[フィラー取付]



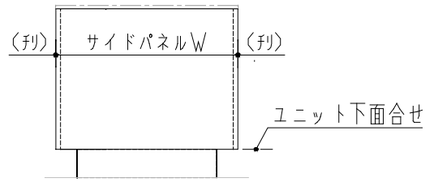
ー図6ー　[水平レベル調整]

7．パネル・食洗機ドア材の取付

サイドパネル・（バックパネル）をユニット内側より皿木ねじL28で取り付けます。
天板とのチリに注意してください。
ユニット側板へ下穴(Φ5)　(ワッシャー・化粧キャップ使用)　(図７参照)

禁止　**クランプ工具で直接 天板・サイドパネル・バックパネルを挟まないでください。へこみ・キズの原因となります。使用する場合は板材10ミリ以上100角程度のものを抱かせて締めこんでください。**

食洗機ドア材の取付に関しては、食洗機の説明書をご確認の上取付をしてください。



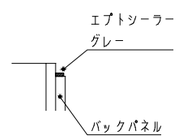
ー図７ー　[サイドパネル取付]

3　設置手順　3-3

■ワークトップの取付け

- ステンレスワークトップの端部でケガをしないように注意してください。
- ステンレスワークトップを持ち運ぶ時は必ず立てて持ち運んでください。
（平持ちで運ぶとワークトップの変形、歪みの原因となる恐れがあります。）

1. バックパネル仕様のキッチンはワークトップを乗せる前に
天板裏貼りとのすき間塞ぎのため、エプトシーラーをパネル上面木口に貼付てください。（図8参照）

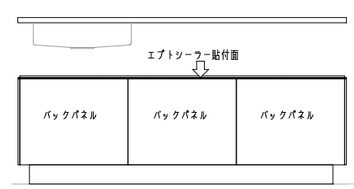


2.ステンレス ワークトップの仮設置

ベースユニットの上にワークトップを仮設置し、ワークトップとベース
ユニットのを前後左右調節して所定の位置に設置してください。

3. ステンレスワークトップの取付け

ワークートップをベースユニットに取付いている、ワークトップ用の固定金具　部にトラスタッピングL12を使用して固定をします。
背面ﾍﾞｰｽ収納との固定は、ユニット天板下穴より
皿木ネジＬ２８にて固定します。（ワッシャー・化粧キャップ使用）



ー図８ー　[すきま埋め材貼]

3　設置手順　3-4

■水栓金具・排水器具・機器類の取付け

1. 水栓金具の取付け

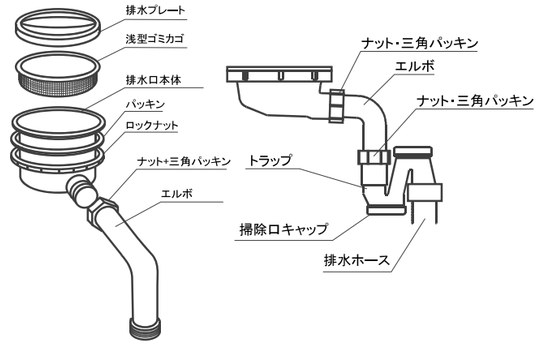
水栓金具に付属されている取付・工事説明書に基づき、取り付けます。

2. 排水器具の取付け

排水器具は右図の順序で取り付けてください。ロックナットは専用の締付工具（別売）を使用し、その他のナットは手で漏水のないように確実に固定してください。

3. 各種機器の取付け

各種機器に付属されている取付・工事説明書に基づき、取り付けます。



4　施工後の調整・確認

■施工後の調整

扉・引出しの調整

施工完了後は、扉のガタツキ、緩み、傾きがないことを確認してください。
調整が必要な場合は取扱説明書の丁番・他金物の調整方法の要領で調整をしてください。

■施工後の確認

1. 施工後のクリーニング

ユニットや扉のホコリ・汚れは柔らかい布で拭き取ってください。

2. 水廻りの取付状況の再確認

水栓金具、排水金具が確実に取付されていることを確認してください。

3. 機器類の試運転

機器類は付属の取扱説明書に従って、施工後の点検『試運転』を行ってください。